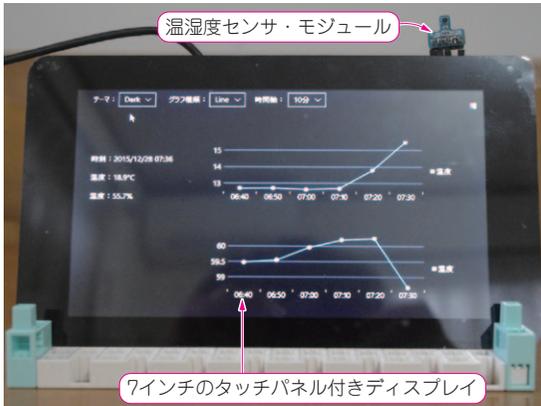


さすがWindows 10×ラズパイ①… はじめてのグラフィカル温湿度計

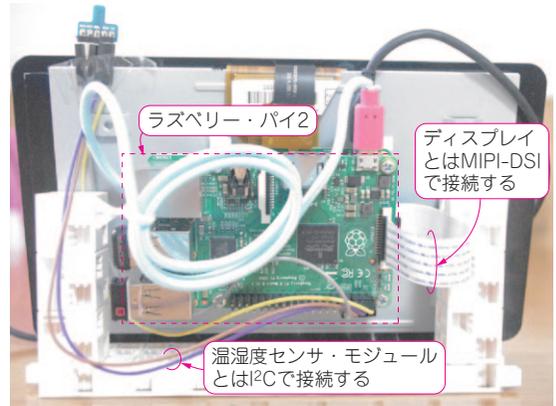
表示
自由
自在!

ご購入はこちら

林 宜憲



(a) 表面



(b) 裏面

写真1 ボード向けWindows 10 IoT Core×定番ラズパイ2の組み合わせで画像電子工作を初体験してみる
製作したグラフィカル温湿度計

ラズベリー・パイ2はLinuxをOSとして動作することを前提とした低価格コンピュータ・ボードです。2015年7月末に新たな対応OSが登場しました。マイクロソフトから提供が開始されたボード向けWindows 10 IoT Coreです。

Windows 10 IoT Coreで動作するアプリは、マイ

クロソフトの定番開発環境Visual Studio 2015を使って開発できます。パソコン用Windowsアプリケーションと同じような高性能な表示ライブラリを利用した、カッコイイGUIアプリを作成できます。

グラフィカル温湿度計の特徴

本稿ではラズベリー・パイ2上で動作するWindows 10 IoT Core用GUIアプリを作成し、画像電子工作を初体験してみます。

ラズベリー・パイ2とI²C接続の温湿度センサを用いて、グラフィカル温湿度計を製作します。写真1のように、ディスプレイに現在の温度、湿度の表示、および平均温度、湿度のグラフを表示します。全体の装置構成を図1に示します。

● その1…色をカスタマイズできる

画面のテーマ(グラフ表示の色)を切り替えられます。写真2にその様子を示します。今回は白を基調としたLightと、黒を基調としたDarkの2種類を切り替えられるようにしました。

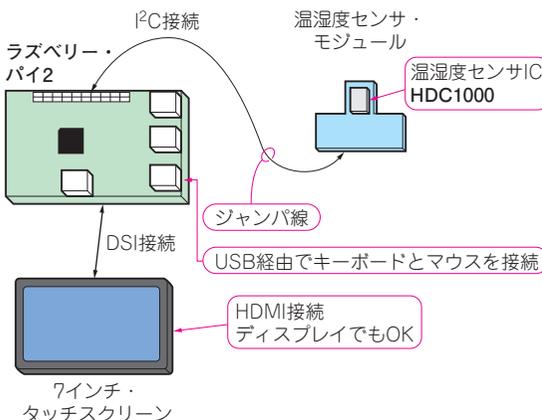


図1 グラフィカル温湿度計の装置構成